



おおの よしひろ 議員  
大野 良弘

みんなで  
地域おこし協力隊を  
応援しましょう!!

問

# 町民が望む働く場の確保と課題は

町長

## 町内企業存置と創業支援に努める

### 商工会など関係団体と連携を図る

問 企業誘致を進めるためには、どのような体制や取り組みが必要と考えているか。

また、どのような企業を誘致したいのか。その進捗状況は。

町長 企業立地のための土地の確保や労働力確保の課題があり、直近10年では企業誘致の実績はなく、具体的な企業の誘致を進めている状況にはない。

本町では、既存の町内企業の存置対策や創業支援に重点を置いてきており、今後におい

ても商工会や金融機関などの関係団体と連携を図りながら、事業者の確保に努めたい。



### 労働力を増やすための仕組みづくりを

問 労働力を増やすためには、企業や個人に対してどのようなアプローチができるか。その体制と仕組みづくりが必要と考える。

その実践事例として



北見市においては、北見市雇用創造協議会を設立して、事業者向けの研修、求職者向けのスキルアップセミナー、企業と求職者のマッチングの相談会などを積極的に取り組んでいる。本町ではこの取り組みを調査研究されているか。

町長 その団体の名称および事業内容は把握しておらず、調査研究に努める。

問

### 協力隊の不安を除く支援体制は

町長

### 協力隊員と町民の意見を聞く

### 隊員の不安解消とみんなの意見を

問 募集する職種の中に福祉活動の経験のある人、手話のできる人、外国人の方、元プロ野球選手、薬剤師の資格のある人などを募集したいという考え方が全くない。

先進地である置戸町の協力隊員に、なぜ置戸を選択したのかを聞き取りしたが、20代・30代の方々は、3年後の定住に向けた未来像が見えない不安やいろいろな事情で置戸町を選択している。その不安を取り除く支援をすることが我々に求められていると考えるが、どう思うか。

町長 3年後に定住していただく目的の制度なので、会計年度任用職員としての仕事を主にしてもらいながら地域協力隊の希望などにも応じていく。

また、各々のスキルについての考えを捨てている訳ではない。

問 隊員の不安を解消し3年後に働く場の支援ができるように体制や仕組みをみんなで考えることが重要だと思うがどうか。

また、若い人たちの意見をよく聞いて対応してほしい。

町長 隊員本人の思いや希望をよく聞いて、十分検討しながら進めていきたい。



大野議員の一般質問を視聴できます